



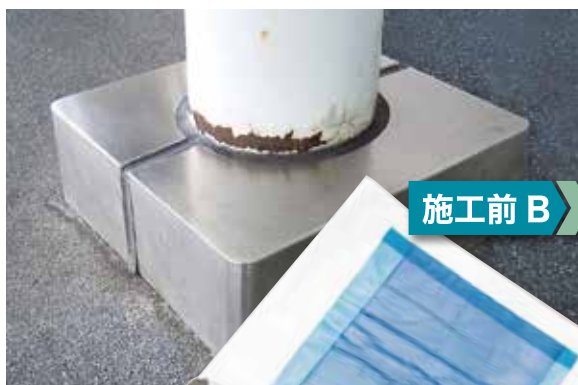
貼り付けるだけで簡単に鋼管柱の サビや腐食を補修・予防する 防食用シリコン接着シート

ポリマエース® PG

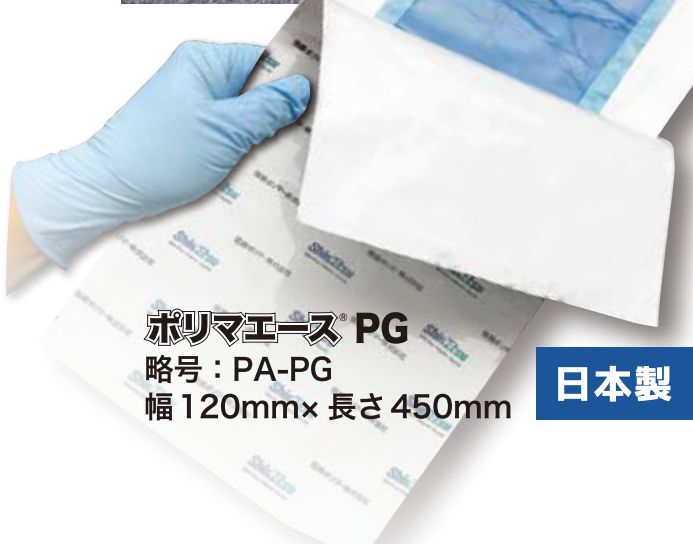
耐水性・耐熱性・耐寒性・耐候性に優れ、難燃性も備え、FRPや金属(鉄・SUS)やガラス、木材にも接着します。



コンクリートやアスファルトにも接着するため、鋼管柱地際の塩害などによる腐食を長期的に防止します。



地際の水平面と立ち上がり部分には、テープ状のポリマエース® PAを併用。



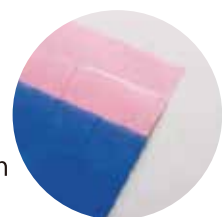
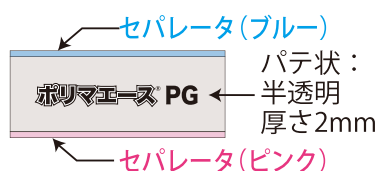
ポリマエース® PG

略号：PA-PG

幅 120mm×長さ 450mm

日本製

■ 構成断面図



ポリマエース® PG は、

補修面を綺麗にして貼り付けるだけ。特別な道具や動力無しで簡単に現場加工ができるシリコン製の接着シートです。空気中の水分に反応して硬化・接着し、電信柱や照明灯・交通表示灯などの劣化を補修・予防します。

■ 施工手順



① 施工前 下地処理

土や砂、埃など付着物をほうきや研磨等で除去します。

② 清掃

①のあとに被着面を水で洗い、清掃面を手のひらでぞり、粉などが付着していない程度まで清掃します。

③ プライマー施工範囲の設定

柱・ポールなどの施工箇所の貼り付け位置を決め、境界に養生テープを貼り専用プライマーを専用刷毛で全面に塗ります。刷毛先で凹面にもムラなく塗り込んでください。15分以上風乾させたのち、養生テープを剥がします。その後指で触ってプライマーが付着しなくなっていれば風乾完了です。

④ ポリマエース® PG の貼り付け

アルミ防湿袋より取り出し施工箇所に合わせてカットし、**ピンクのセパレータ**を剥がします（**ブルーのセパレータ**はつけたまま）。両端を持ち、**ピンクのセパレータ**を剥がした面を施工箇所に向け、無理に引っ張らず片側から布を巻くような感じで**ブルーのセパレータ**の上から手のひらで押し付けて貼ります。目視確認しながら気泡が残らないように押し出します。端部は指先やローラーで押し潰し、厚みが半分程度になるまで押し潰してください。

⑤ 重ね合わせ施工

重ね合わせが必要な場合の重ね部分は10mm以上に設定してください。重ね合わせ部も含め、④と同様の方法で貼り付けます。

⑥ 完成

1昼夜で硬化接着し、実用強度になります。約8日間で完全硬化し強固に接着します。

■ 防食性能評価結果

腐食状態の評価基準：◎さび発生無し ○一部さび発生 △全面にさび発生 ×腐食あり

	スタート	270 サイクル 実暴露 20年相当
被覆無し		×
ポリマエース® PG	さび無し	◎
	さび有り	○

70サイクル後、被覆無しは腐食が進んでいる状態が確認されました。一方ポリマエース®PG被覆は、錆の発生は認められませんでした。また少し錆のある検体に被覆したところ、いずれも錆の進行は認められませんでした。

未来に継ぐ ShinEtsu 信越ポリマーのインフラメンテナンス製品

は、性質によって以下の4種類があります。補修したい場所、物、内容によって使い分け、または組み合わせることで幅広い簡単補修・長寿命が可能になります。

接着	粘着	自己融着	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ポリマエース®UG ・ポリマエース®TG ・ポリマエース®BS ・ポリマエース®PA ・ポリマエース®PG 	<ul style="list-style-type: none"> ・シリコシート ・Type-AD・ADG 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリママルチテープ ・水漏れ御用* 	<ul style="list-style-type: none"> ・アグリパテ アクア ・シリコパテ

← ポリマエース® 商品は、すべて下地にプライマー処理が必要です。

日本製

■ 保管・取り扱上の注意

1. 貼り付け面は、さび、ごみ、繊維、洗剤、油分、水滴などを取り除いてください。
2. 貼り付け面側は極力素手で触らないようにしてください。薄いゴムやポリエチレン製の手袋の着用を推奨します。
3. アルミ防湿バックを開封すると、空気中の水分と反応して硬化が始まります。開封後は目安として30分以内に使い切ってください。再度保存することはできません。

- 本製品の記載内容は、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本パンフレットの記載情報を許可なく複製・模倣・流用・転載することを禁じます。

■ 安全・衛生上の注意事項

1. 未硬化状態のポリマエース®PGは、皮膚刺激性を有するので、皮膚・粘膜に付着しないように、ゴム手袋、安全めがねなどの保護具を着用ください。皮膚に付着した場合、ウエスなどで拭き取ってから、直ちに流水で十分に洗い流してください。万一目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。また、コンタクトレンズ着用者は、誤って目に入った場合、目に固着することがありますので、特にご注意ください。
2. 硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)を発生しますので、取り扱いの際には換気を十分にを行い、蒸気の吸入を避けてください。蒸気の吸入の恐れがある換気の悪い場所での使用は避けてください。もし、蒸気を吸入して気分が悪くなったときは、直ちに新鮮な空気の場所に移動してください。
3. 子供の手の届かないところに保管してください。
4. 使用前には安全データシート(SDS)をお読みください。SDSは担当営業部署までご依頼ください。

● お問い合わせは

製品についてはこちらのサイトもご覧ください

ShinEtsu 信越ポリマー株式会社



営業本部 営業第四部

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町1-406-1
TEL 048-652-6287 FAX 048-652-6289

● ホームページ <https://www.shinpoly.co.jp>